

現行の将来構想に関する取組状況の整理

2021年5月31日
株式会社日本総合研究所

第2期県立高校将来構想の全体像

- 第2期県立高校将来構想では、以下の3つの基本コンセプトをもとにソフト面の教育活動や教育環境に関する施策とハード面寄りの学校・学科の再編整備の方向性やその進め方を整理しています。

■「第2期県立高校将来構想」（平成27年3月策定：平成27年度～平成36年度）

今後の県立高校の在り方

基本的コンセプト（学校づくりの方向性）

- ◇ 生徒が夢を育み、志をもって学ぶ学校
- ◇ 生徒や教職員が生き生きと活動し、活力のある学校
- ◇ 地域に愛され、地域とともにある学校

教育活動の充実

教育環境の充実

【今回の対象】

- 確かな学力を育成する教育の充実
- 豊かな心を育む教育の充実
- 健やかな体を育む教育の充実
- 進路指導の充実
- 生徒指導、相談・支援体制の充実
- グローバル人材の育成
- ICT活用の推進

【今回の対象】

- 教職員の資質能力の向上
- 学校運営の活性化
- 地域と連携した学校づくり
- 安心・安全な学校づくり
- その他

【次回ご紹介】

- 全日制課程の方向性
- 定時制・通信制課程の方向性
- 中高一貫教育の推進

【今回の対象】

- 再編整備の必要性
- 望ましい学校規模
- 再編整備の進め方
- 配慮事項

特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備

特色ある学校づくりの推進

学校・学科の再編整備の推進 (望ましい学校規模の確保)

高校教育の質の確保・向上

- ◇ 選択幅の広い教育の推進
- ◇ 活力ある教育活動の展開
- ◇ 生徒同士が切磋琢磨する環境づくり

取り組み状況確認 | 第3章 今後の県立高校の在り方について (1/6)

- 第2期県立高校将来構想における取り組み状況は以下の通り。
- ほぼ全ての推進事項に対して、取り組みが実施されている状況である。

		推進事項	取り組み状況	今後の展望
3. 教育活動の充実	(1) 確かな学力を育成する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> きめ細かな指導の充実 多様な学習活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進 「次世代型教育パイオニア校事業」による指導方法等の実践研究の実施 コミュニティ・スクールを核とした地域連携教育の推進 学科の枠を超え協働しながら、地元企業と連携した起業家教育や商品開発に向けた取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 確かな学力の定着と向上に向けた、「組織力」「授業力」「連携力」の視点からの取組を引き続き強化 指導方法等の実践研究及び成果の普及について、さらなる充実
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味・関心、能力・適性等に応じた学びの機会の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善サポート校（指定校）における実践研究及び成果の普及 県内大学や地元企業の講師を招いた講演会・講習会の実施 	
		<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習習慣の確立への尽力 評価の工夫・改善の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況等のアンケートを実施 各校において家庭学習習慣の定着に向けた取組を推進 学習指導要領に基づく「指導と評価の一体化」等、評価に係る教員対象の研修会等を実施 	
		<ul style="list-style-type: none"> 体験活動の積極的導入 人間関係構築や自尊感情等を育成する教育活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動等の社会奉仕活動やインターンシップ等の体験活動を実施 「山口県人権教育推進資料」に基づいた授業例の紹介 「心の教育推進の手引き」「心の教育実践事例集」によりよい生徒指導に向けて」「子どもたちの規範意識を育むために」等の活用による取組の推進 S Cによる生徒の心の育成をする「心理教育プログラム」の実施 地域の教育力を活用した実践研究の紹介、生徒作品の募集 等 	
	(2) 豊かな心を育む教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 「道徳教育の全体計画」の作成 「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクト推進校における実践研究及び成果の普及 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動全体を通じて行う観点からの全体計画の工夫、見直し
		<ul style="list-style-type: none"> 文化部活動の活性化や、読書活動の推進、優れた文化・芸術を鑑賞する機会等の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 県高等学校総合文化祭の開催 生徒が3年間に1度は本物の舞台芸術等にふれあえる環境づくり 読書の機会による読書活動の促進、学校図書館の整備・充実 授業での図書室の利用促進、図書担当教職員等の資質向上を図る研修 	<ul style="list-style-type: none"> 発達の段階に応じた読書活動の充実 引き続き学校における読書活動の推進や家庭や地域における読書活動の推進に向けた取組の実施

出所：山口県取り組み状況への回答を基に日本総研作成

取り組み状況確認 | 第3章 今後の県立高校の在り方について (2/6)

- 第2期県立高校将来構想における取り組み状況は以下の通り。
- ほぼ全ての推進事項に対して、取り組みが実施されている状況である。

		推進事項	取り組み状況	今後の展望
3. 教育活動の充実	(3) 健やかな体を育む 教育の充実	各教科・科目、特別活動等、教育活動全体を通じて健康や安全に関する指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の実態に応じた学校保健の推進 指導体制の充実による保健活動の推進 学校・家庭・地域が一体となった学校保健の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣の確立に向けた学校保健の組織的・計画的な取組の推進に向け、好事例を広める取組や研修の実施 学校医を始めとした専門家とも連携を図ることができる体制づくりを推進
		<ul style="list-style-type: none"> 種目や学校の枠を越えた運動部活動の取組の検討 運動部活動の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 教員の指導力向上（実技講習会等の開催等） 関係団体等との連携による部活動などの学校体育活動の充実（県レクリエーション協会、部活動指導員等） オリンピック・パラリンピアン等によるスポーツ教室の開催 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ医・科学の専門家等との連携による各校での取組の検証・改善 WEBを活用したクラス参加型による運動の日常化の取組において、種目数を増やすなどの改善及び実施率の向上 学校体育通信において運動・スポーツの話題提供を行い、運動習慣を改善・定着
	(4) 進路指導の充実	企業訪問やインターンシップ等をはじめとする、学校と家庭、地域、産業界等が連携した“オールやまぐち”でのキャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 在学中に体験的なキャリア教育を行った生徒の割合 令和元年度98.6% 家庭、地域、産業界等が連携した企業訪問やインターンシップ等の実施 進路指導計画による系統的な進路指導の推進 キャリア・パスポートを活用した系統的・継続的な進路指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 進路意識の醸成、学習習慣の定着、学力の伸長に資する取組を推進 ガイダンスの充実等による、県内の企業・大学等の魅力やよさについての理解を深める取組の推進 専門分野に関する知識・技術の深化と実践力の育成、将来の地域産業を支える人材の育成に向けた取組の推進
		高大連携教育の充実等による生徒の進学意欲の向上 専門家を活用した校内外における研修会等の取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> 進路決定率 令和元年度98.6% 大学入学者選抜改革に対応した取組の充実 大学教授等の講演や大学生とのディスカッションの実施 テレビ会議システムを活用したハイレベルな講義・演習を実施 進路意識の醸成や学習意欲の向上を図る進学指導の充実 	
		県内就職をはじめとした就職支援の推進による、就職率・定着率の一層の向上	<ul style="list-style-type: none"> 県内就職比率 令和元年度82.4%と着実に数値が向上 就職決定率 令和2年度99.4%（山口労働局発表） 就職ガイダンス、職場見学、職業体験による地域産業に対する理解の促進 	

出所：山口県取り組み状況への回答を基に日本総研作成

取り組み状況確認 | 第3章 今後の県立高校の在り方について (3/6)

- 第2期県立高校将来構想における取り組み状況は以下の通り。
- ほぼ全ての推進事項に対して、取り組みが実施されている状況である。

	推進事項	取り組み状況	今後の展望
3. 教育活動の充実	(5) 生徒指導、相談・支援体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> 問題行動や不登校の早期発見・早期対応に向けた生徒指導・教育相談体制の充実 ネットアドバイザー等の専門家配置 専門家チームの派遣による緊急時の学校支援体制の充実 「山口県いじめ防止基本方針」に基づく各学校の基本方針に則った取組の社会総がかりでの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校生徒数 令和元年度 高校生1,000人当たり6.6人 暴力行為発生件数 令和元年度1,000人当たり5.6件 校内体制の整備と校種間の連携強化、不登校生徒への学校復帰支援 コミュニティ・スクールによる学校・家庭・地域が連携した取組の推進 やまぐち総合教育支援センターにネットアドバイザー等の専門家を配置 「子どもと親のサポートセンター」等による相談・支援 いじめの解消率（公立小・中・高校、総合支援学校） 令和元年度98.4% 「山口県いじめ防止基本方針」「学校いじめ防止基本方針」に基づくいじめ対策の充実・強化 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体的活動や、開発的・予防的生徒指導を通じた心を育てる教育の推進及び思春期グローイングハートプロジェクト事業の一層の充実 問題行動や不登校等への迅速・的確かつ組織的な対応の強化や、S・C・S・S・W等の外部専門家や関係機関等との連携強化による相談・支援体制の一層の充実
	(6) グローバル人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> 諸外国の伝統・文化を理解・尊重する態度を育成する教育活動の充実 高大連携教育等の推進 国際協調・協力を実践する態度の育成に向けた取組の拡充 郷土をはじめ我が国の伝統・文化とその価値に対する理解を深める教育活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 英検準2級以上相当を達成した高校生の割合 令和元年度41.9% 留学への機運の醸成、慶尚南道との交流 英語教育に係る教員研修の実施 大学等との連携による外国語や国際理解について発展的な学習を推進 探究科における学問に対する意欲や将来への志を高め、高度でより能動的な学修につながる学力を育成 学校芸術文化ふれあい事業の充実などにより、学校現場での優れた芸術にふれあう機会を提供 コミュニティ・スクールの仕組みを生かし、地域と連携した伝統に触れる交流活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語教育における、校種別スキルアップ研修会の開催による指導力の向上 海外留学の促進及び英語によるコミュニケーション能力育成の取組の継続
	(7) ICT活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> タブレット等のICT機器の活用 テレビ会議システムによる双方向型授業の導入、学校間の交流の支援 ネットアドバイザーの活用等による情報モラル教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての高校にタブレット端末、大型提示装置等のICT機器や無線LAN環境を整備 「教育情報化推進室」の設置 学校・家庭・関係機関と連携した情報モラル教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 教育の情報化による教育の質の向上及び、学校・家庭・関係機関と連携した情報モラル教育の充実 ICT機器の整備の促進

出所：山口県取り組み状況への回答を基に日本総研作成

取り組み状況確認 | 第3章 今後の県立高校の在り方について (4/6)

- 第2期県立高校将来構想における取り組み状況は以下の通り。
- ほぼ全ての推進事項に対して、取り組みが実施されている状況である。

		推進事項	取り組み状況	今後の展望
4. 教育環境の充実	(1) 教職員の資質能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> • 学校体験制度や教育実習の充実等による意欲ある優秀な人材の養成・確保 	<ul style="list-style-type: none"> • 学校体験制度や教育実習の充実 • 「山口県の教師塾」の取組の推進 • 「やまぐち教職ガイダンス」等による情報提供の推進 	<ul style="list-style-type: none"> • 教職員の資質能力の向上に向けた取組を継続 • 「やまぐち教育先導研究室」において、Society5.0などの新たな時代を見据えた本県ならではの最先端教育を研究し、教育現場で実践する教員を育成
		<ul style="list-style-type: none"> • 様々な人材育成に関する取組の充実 	<ul style="list-style-type: none"> • 山口県教員養成等検討協議会における検討 • 山口県教員育成指標の活用推進 • 教職員評価における評価者としての資質能力向上を図る研修の実施 • 中堅教諭等資質向上研修等、キャリアステージに応じた研修の見直し・改善 • サテライト研修等による校内研修の活性化 	
	(2) 学校運営の活性化	<ul style="list-style-type: none"> • 自己評価・学校関係者評価の充実 • 学校の課題について、保護者や地域と共有する取組や、その意見を学校運営に反映させる取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業評価・学校評価の活用による取組の確認・改善 • 全校に導入したコミュニティ・スクールの仕組みを生かして、学校運営協議会の中で、保護者や地域と課題、目標を共有し、協議会での意見を教育活動の充実に反映 	
		<ul style="list-style-type: none"> • 教職員一人ひとりの学校運営への参画意識の向上を図る取組の促進 	<ul style="list-style-type: none"> • マネジメント研修講座の改善・充実 • リーダー養成研修の改善・充実 	

出所：山口県取り組み状況への回答を基に日本総研作成

取り組み状況確認 | 第3章 今後の県立高校の在り方について (5/6)

- 第2期県立高校将来構想における取り組み状況は以下の通り。
- ほぼ全ての推進事項に対して、取り組みが実施されている状況である。

		推進事項	取り組み状況	今後の展望
4. 教育環境の充実	(3) 地域と連携した学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールを高校に導入し、保護者や地域の声を学校運営に反映 地域に貢献する取組の充実 	<ul style="list-style-type: none"> <u>コミュニティ・スクールを導入し、地域と連携した学校・地域の課題解決に取り組んだ県立高校等の割合 令和2年度 100%</u> <u>地域連携教育エキスパートの派遣 (3名)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校・地域連携カリキュラム」の実践・評価・改善への取組を推進し、地域連携教育を一層充実 令和2年4月に設置した「地域連携教育推進室」を中心として、<u>コミュニティ・スクールと地域協育ネットの一体的推進により、学校・家庭・地域の連携を強化し</u>、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりへの取組を促進 校種間連携による地域学校協働活動の推進
		<ul style="list-style-type: none"> 小・中・高等学校の連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校で高校生が出前授業、小・中・高校生と一緒に体験活動 CS活動推進員を配置し、校種間連携を推進 (全県立高校等に派遣) 中学生が高校における体験入学や学校説明会において体験活動を実施 推進の核となる研修会・協議会等の開催 活動の充実に向けた普及・啓発 (フォーラム・集いの開催2回) 	
		<ul style="list-style-type: none"> 県内大学や地域の産業界等と連携した教育活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 県内大学や地元企業の講師を招いた講演会・講習会の実施 <u>自治体・高等教育機関・産業界等と協働してコンソーシアムを構築し、地域課題を解決する探究的な学びを実現する取組を推進</u> <u>専門的資格を取得した生徒 (職業教育技術顕彰受賞生徒) の割合 (高校・特支) 令和2年度 26.0%</u> 	
	(4) 安心・安全な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動全体を通じた、総合的・計画的な安全教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> <u>事前告知なしの避難訓練を実施している学校の割合 令和2年度61.7%</u> 組織的・効果的な安全教育の推進 「KYT資料集」の活用促進 防犯教室、防犯訓練の実施 	
		<ul style="list-style-type: none"> 教職員研修の充実等により危機管理マニュアルの改善や安全点検の工夫など各学校の安全管理の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯、防災、事故対応等各研修会の実施 県内7地域で実施する学校防災研修会 学校施設・設備の安全点検、通学路点検 危機管理マニュアルの改善・周知 	
		<ul style="list-style-type: none"> 関係者がより密接に連携し、社会全体で生徒たちの安心・安全を支える体制づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 学校安全アドバイザー等の専門家の活用 地域と連携した学校安全の取組 	

出所：山口県取り組み状況への回答を基に日本総研作成

取り組み状況確認 | 第3章 今後の県立高校の在り方について (6/6)

- 第2期県立高校将来構想における取り組み状況は以下の通り。
- ほぼ全ての推進事項に対して、取り組みが実施されている状況である。

		推進事項	取り組み状況	今後の展望
4. 教育環境の充実	(5) その他	<ul style="list-style-type: none"> 県立学校の耐震化の推進 施設の老朽化対策や再編整備等により必要となる施設・設備の計画的な整備 	<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化(個別施設)計画策定率 令和元年度50.0% 耐震対策後の校舎改築、老朽化対策等を実施 学校施設のバリアフリー化、総合支援学校における非常用備蓄物資の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化対策を推進
		<ul style="list-style-type: none"> 奨学金制度の周知・拡充を図るなど、修学支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校等就学支援金等の支給 (公財)山口県ひとづくり財団を通じた奨学金の貸付 	<ul style="list-style-type: none"> 就学支援金、奨学給付金、奨学金等の一層の制度周知及び制度の円滑な運用

出所：山口県取り組み状況への回答を基に日本総研作成

次期構想において求められる要素 ～今後の県立高校の在り方について～

- 各取組の今後の展望から、①地域との結びつき強化及び地域特有の教育の開発、②専門家や専門機関と連携した各領域の深化、③ICTを活用した教育の高度化及び変化への対応の要素が今後より一層求められると考えております。



取り組み状況確認 | 第4章 2 学校・学科の再編整備

- 現行構想に記載の「望ましい学校規模」及び「再編整備の進め方」として以下の通り掲げられており、これまでにこれらの方針に沿った再編整備が進められている。

構想からの抜粋

4.2. 学校・学科の再編整備

(2) 望ましい学校規模

- 全日制課程の学校規模については、選択幅の広い教育や活力ある教育活動の展開などに視点を置き、学校規模別の開設科目数、配置教員数、部活動数とともに、アンケート結果等も踏まえて検討した結果、1学級あたりの生徒数を原則40人として、これまでと同様に1学年4～8学級を望ましい学校規模とします。

(3) 再編整備の進め方

- 再編整備にあたっては、全日制課程の1学年3学級以下の小規模校の再編統合を基本として、他の学校との再編統合により、望ましい学校規模の確保をめざします。なお、1学年3学級の中高一貫教育校の学校規模については、学校全体の学級数を考慮することとします。
- 1学年2学級の学校について、生徒の通学実態等から望ましい学校規模の確保をめざした近隣の学校との再編統合が困難な場合には分校化を検討し、その際の最小学校規模は1学年1学級とします
- 全日制課程を置く分校については、将来的に入学者が定員の二分の一を満たすことが見込まれない場合、募集停止を検討します。
- こうした再編整備の実施にあたっては、高校教育の質の確保を図る観点や地理的条件、交通事情による生徒の教育への影響等を、総合的に勘案しながら検討します。
- 再編整備の対象校であっても、組織的に地域と連携した特色ある教育活動を行う学校や、学び直しや不登校等の多様な学びのニーズに対応した柔軟で弾力的な教育活動を展開する学校など、県全体の教育効果を高めることが特に期待される学校においては、当面は学校を維持することも検討します。

取り組み状況確認 | 第4章 2 学校・学科の再編整備

- 現行構想に記載の「望ましい学校規模」及び「再編整備の進め方」として以下の通り掲げられており、これまでにこれらの方針に沿った再編整備が進められている。



※ 学校数は生徒募集を行う学校の数

取り組み状況確認 | 第4章 2 学校・学科の再編整備

- 具体的なこれまでの再編整備の取組は以下の通り。今後も6校（夜間定時制課程）の募集停止が予定されている。

■ これまでの再編整備の状況

年度	対象校		再編整備の内容	新 高 校	
	学校名	課 程		学校名	課 程
平成18年度 (2006年度)	柳井商業高校	全日制	再編統合	柳井商工高校	全日制
	柳井工業高校	全日制			
	徳山商業高校	全日制	再編統合	徳山商工高校	全日制
	徳山工業高校	全日制			
	萩商業高校	全日制	再編統合	萩商工高校	全日制
萩工業高校	全日制				
平成19年度 (2007年度)	安下庄高校	全日制	再編統合	周防大島高校	全日制
	久賀高校	全日制		安下庄校舎 久賀校舎	全日制
	大嶺高校	全日制	再編統合	青嶺高校	全日制
	美祢工業高校	全日制			
平成20年度 (2008年度)	坂上高校	全日制	分校化	岩国高校坂上分校	全日制
	広瀬高校	全日制	分校化	岩国高校広瀬分校	全日制
	鹿野高校	全日制	分校化	徳山高校鹿野分校	全日制
	徳佐高校	全日制	分校化	山口高校徳佐分校	全日制
	熊毛南高校上関分校	全日制	募集停止		
	田布施農業高校大島分校	全日制	募集停止		
	徳佐高校高俣分校	全日制	募集停止		
奈古高校須佐分校	全日制	募集停止			
平成22年度 (2010年度)	田布施農業高校	全日制	再編統合	田布施農工高校	全日制
	田布施工業高校	全日制			
平成23年度 (2011年度)	大津高校	全日制	再編統合	大津緑洋高校	全日制
	日置農業高校	全日制		大津校舎 日置校舎	全日制
	水産高校	全日制		水産校舎	全日制
平成24年度 (2012年度)	防府商業高校	全日制・定時制	工業科の設置	防府商工高校	全日制・定時制
	徳山北高校	全日制	分校化	徳山高校徳山北分校	全日制
	佐波高校	全日制	分校化	防府高校佐波分校	全日制
平成25年度 (2013年度)	美祢高校	全日制	再編統合	美祢青嶺高校	全日制
	青嶺高校	全日制			
平成28年度 (2016年度)	下関中央工業高校	全日制	再編統合	下関工科高校	全日制・定時制
	下関工業高校	全日制・定時制			
	奈古高校	全日制		分校化	萩高校奈古分校
平成30年度 (2018年度)	響高校	全日制	再編統合	下関北高校	全日制
	豊北高校	全日制			
平成31年度 (2019年度)	西市高校	全日制	新 設	下関双葉高校	定時制
	下関西高校	定時制	分校化	山口農業高校西市分校	全日制
	下関工科高校	定時制	募集停止		
	(市立)下関商業高校	定時制	募集停止		
令和2年度 (2020年度)	光高校	全日制・定時制	再編統合	光高校	全日制・定時制
	光丘高校	全日制			
令和3年度 (2021年度)	徳山高校徳山北分校	全日制	募集停止		
	徳山高校鹿野分校	全日制	募集停止		

○ 今後の再編整備の予定

年度	対象校		再編整備の内容	新 高 校	
	学校名	課 程		学校名	課 程
令和4年度 (2022年度)	光高校	定時制	募集停止	山口松風館高校	定時制・通信制
	防府商工高校	定時制	募集停止		
	山口高校	定時制・通信制	募集停止		
	宇部工業高校	定時制	募集停止		
	小野田高校	定時制	募集停止		
	厚狭高校	定時制	募集停止		

【全日制課程】

5年間で、6校を再編統合して3校新設、2校を分校化、2分校を募集停止

【定時制・通信制課程】

- これまで3校（夜間定時制課程）の募集停止をして多部制定時制高校を1校新設
- 今後6校（夜間定時制課程）の募集停止をして多部制定時制・通信制課程を併せ持つ学校を1校新設予定

取り組み状況確認 | 第4章 2 学校・学科の再編整備

- 再編整備の取組の一方で、現時点においても1学年3学級以下の高校が数多く存在。

平成26年度（赤字はR3年度）

区分	岩国	柳井	周南	防府	厚狭	下関	萩	合計
1学級	坂上分校 広瀬分校		徳山北分校 鹿野分校	佐波分校 徳佐分校		西市分校	奈古分校	6
2学級			熊毛北			西市 田部 響 豊北	奈古	6
3学級	高森 岩国商業 岩国総合	周防大島 熊毛南	華陵 南陽工業 光丘		小野田工業 宇部中央 宇部西	下関北 下関中等 長府		10
4学級	岩国総合 岩国工業	柳井 柳井商工 田布施農工	光 下松工業 新南陽 下松	防府西 山口農業	宇部中央 宇部西 宇部商業 宇部工業 小野田 厚狭 美祢青嶺	長府 下関南 下関中央工業 下関工業	萩 萩商工	22
5学級			徳山商工 下松	山口中央		豊浦 下関商業 下関商業	萩	4
6学級	岩国		光	防府商工 西京	宇部	下関西 下関工科		5
7学級	岩国		徳山	防府			大津緑洋	3
8学級			徳山	山口				2
合計	本校 5 H26 分校 2	5	10 2	7 2	9	12	4	52 6

現行の構想における再編整備

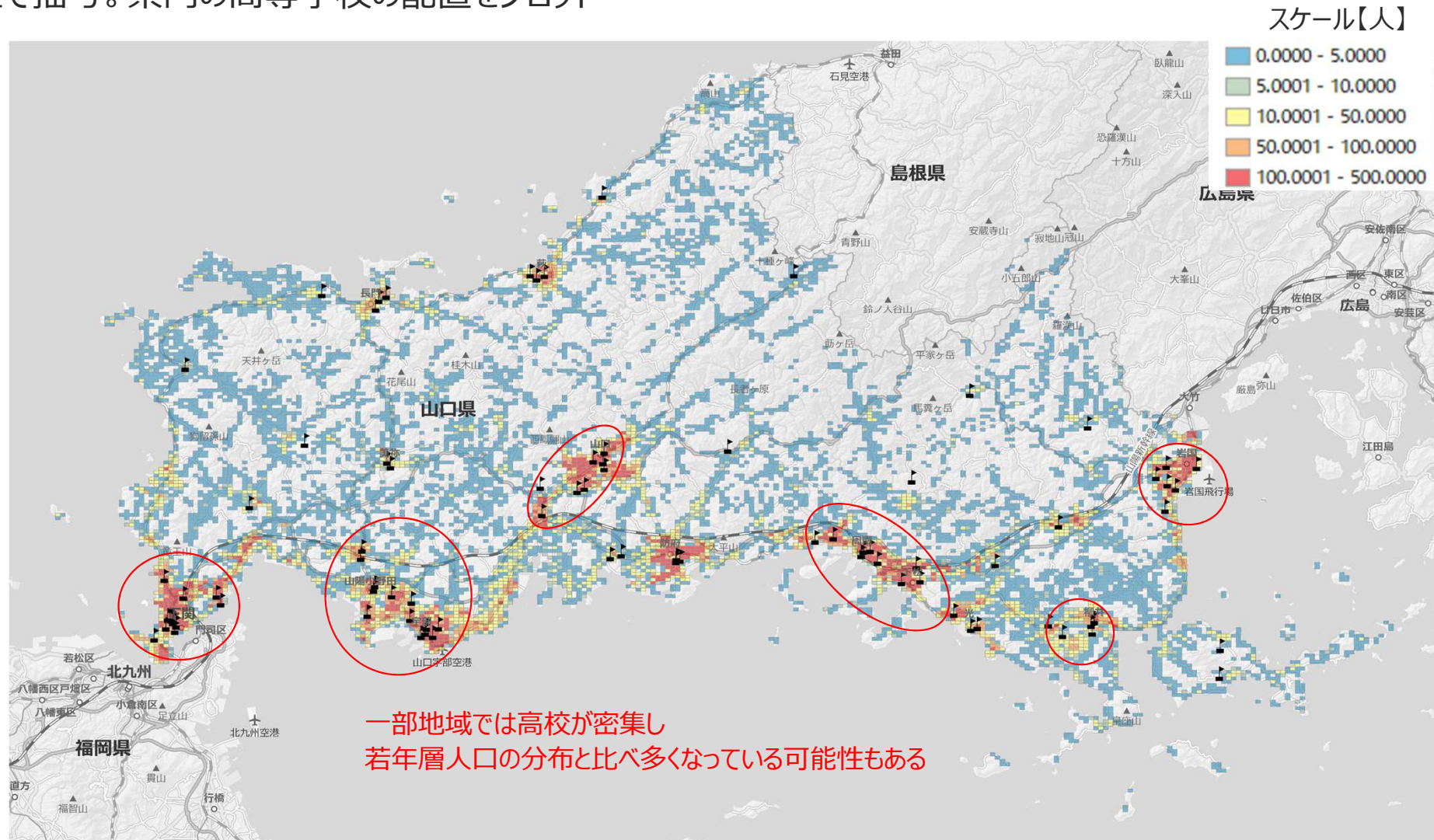
R3年度 合計
6
2
12
17
5
7
3
1
47
6

1学年3学級以下の高校が数多く存在
↓
更なる再編が必要

* 全日制課程のみのデータ 出所：山口県提供資料を基に日本総研作成

(ご参考) 分散型都市構造の現状 (人口動態など) と学校配置

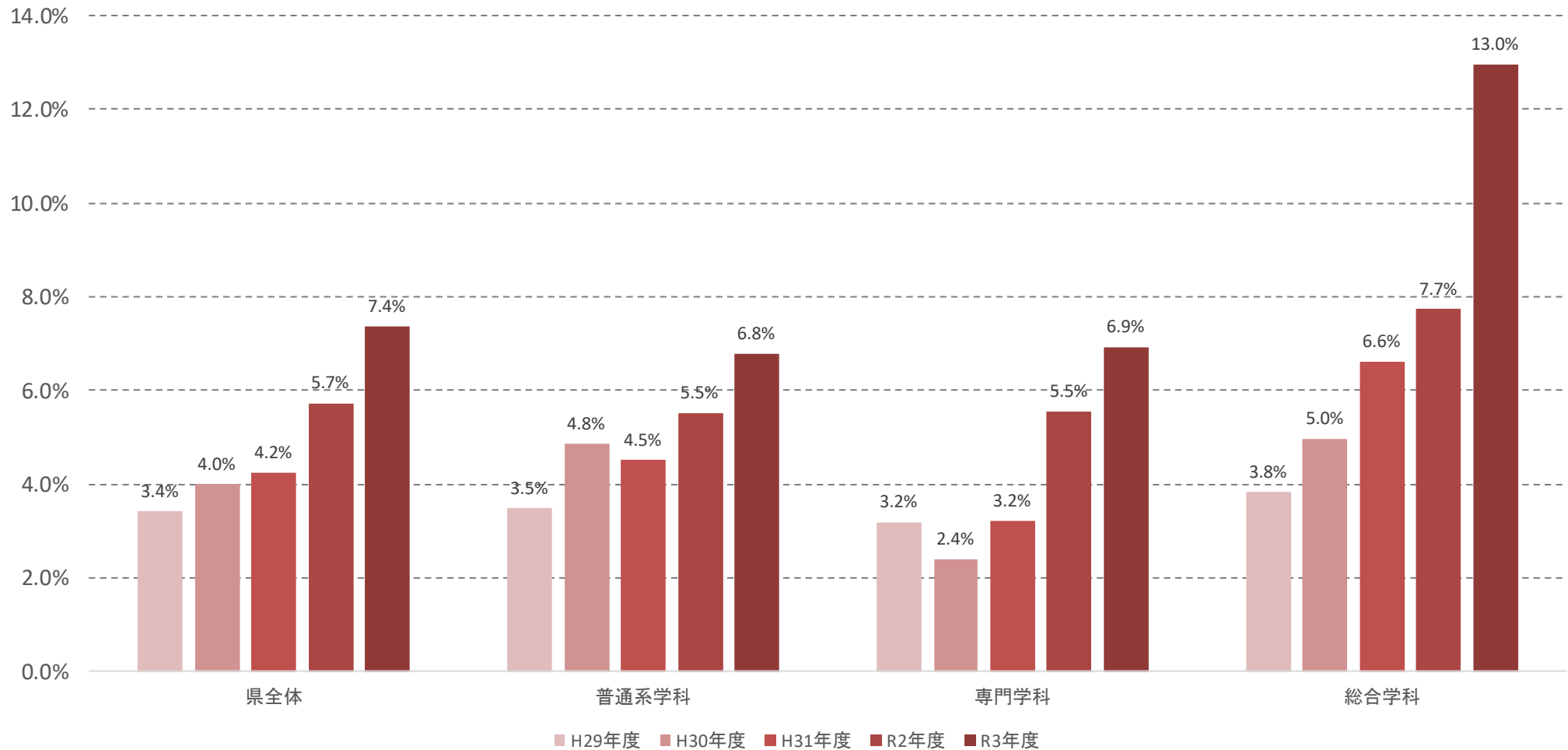
- 2015年度国勢調査に基づく、人口推計値 (2020年度、若年層 (0~14歳)) の標準偏差を500mメッシュ単位で描写。県内の高等学校の配置をプロット



* 黒印が学校位置 出所：国土情報ダウンロードサービスを基に日本総研作成

取り組み状況確認 | 第4章 2 学校・学科の再編整備

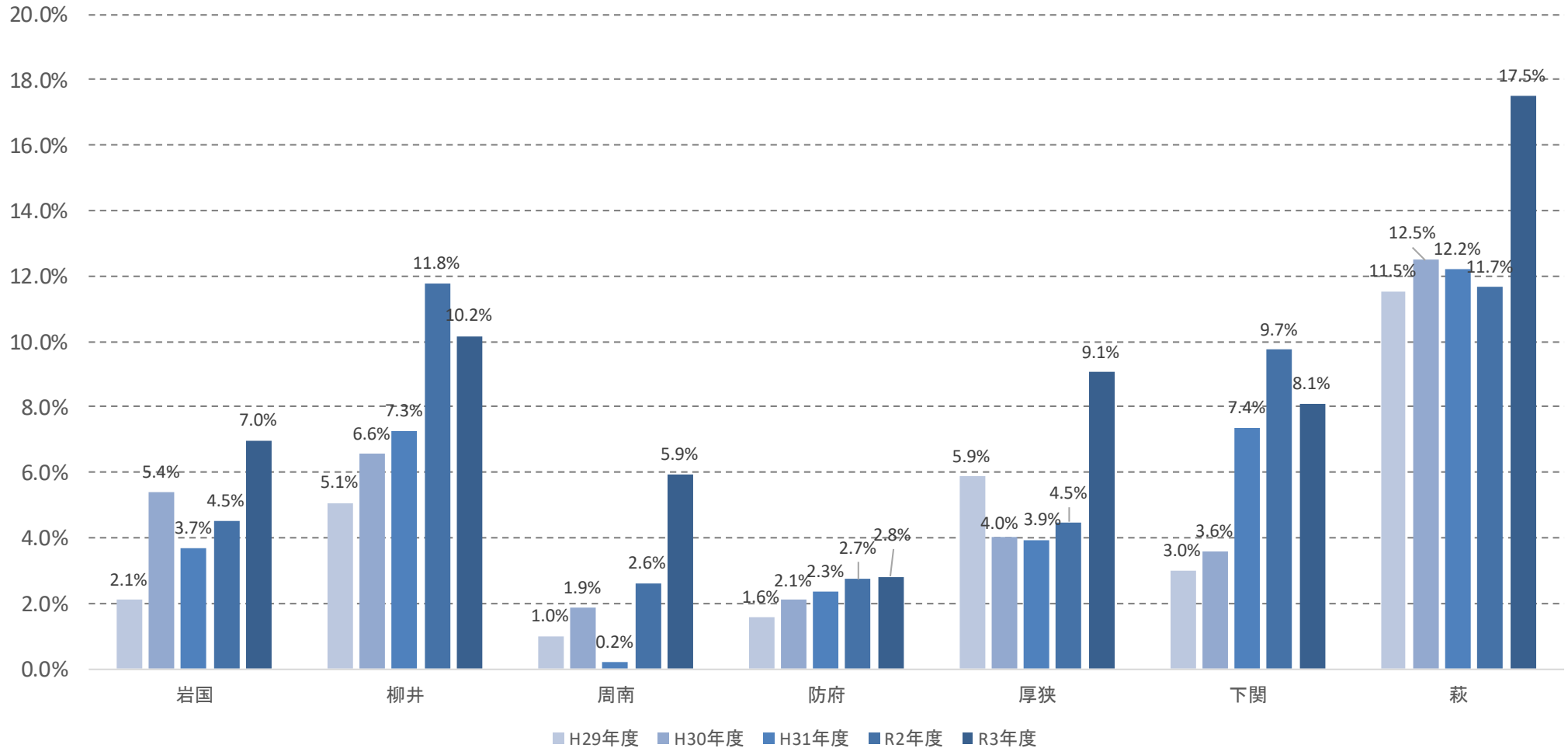
- 公立高等学校等の普通科系学科・専門学科・総合学科別の空き定員率（分校も含む）は以下の通り。
- 県全体の傾向と同様にいずれの学科も空き定員率が増えているが、特に総合学科の上昇が顕著となっている。



出所：山口県提供資料を基に日本総研作成

取り組み状況確認 | 第4章 2 学校・学科の再編整備

- 地域別の公立高等学校等の空き定員率は以下の通り。
- 萩は再編整備の取組や、入学定員の変更により一定の改善がみられるが依然として高く、柳井・下関も急激に増えてきている。

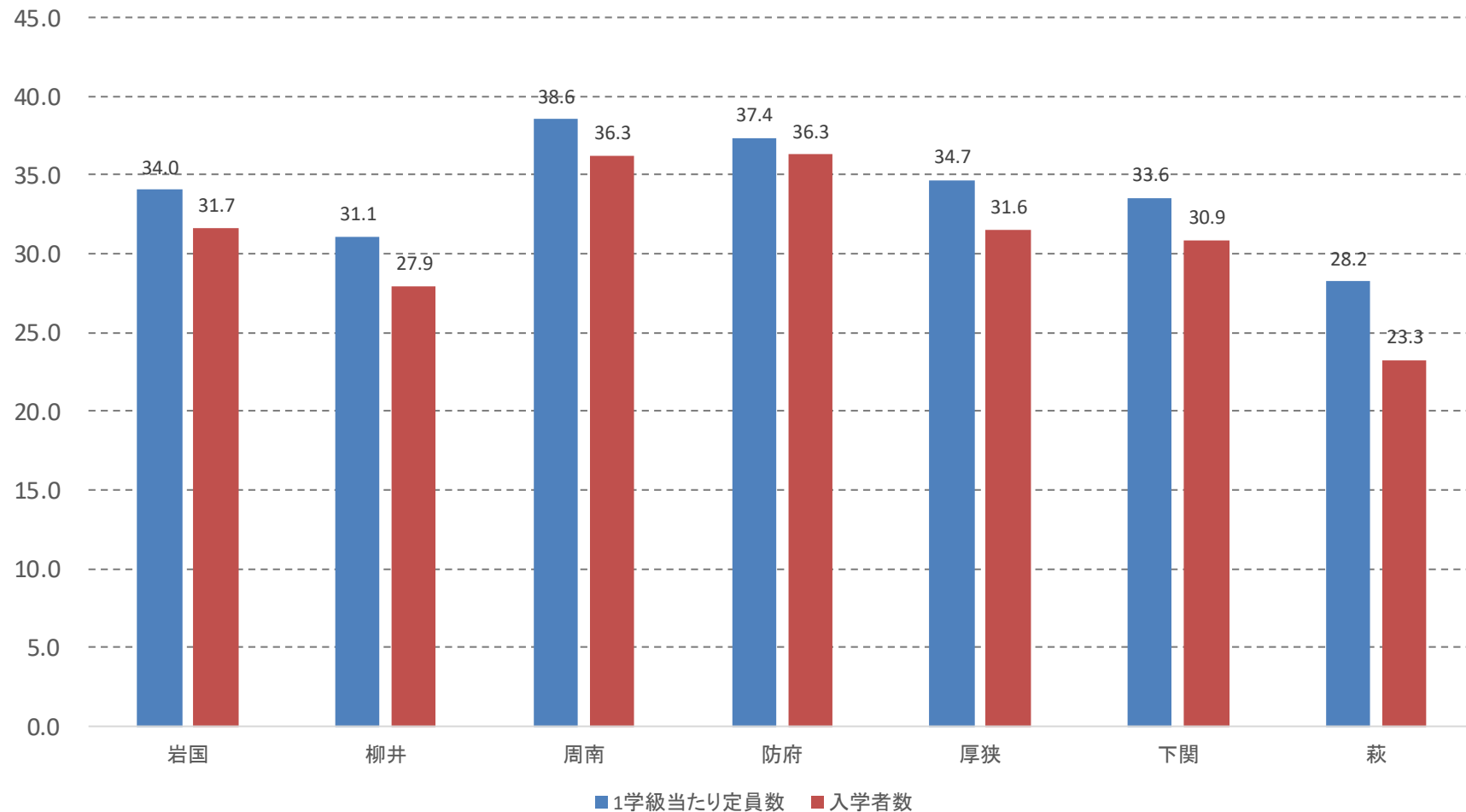


出所：山口県提供資料を基に日本総研作成

取り組み状況確認 | 第4章 2 学校・学科の再編整備の推進について

- 地域別の公立高等学校等の1学級当たりの入学者数（R3年度数値ベース：分校含む）は以下の通り。
- 萩、柳井は1学級当たり入学者数が30人を下回っている。

(人/学級)



出所：山口県提供資料を基に日本総研作成

次期構想において求められる要素 ～学校・学科の再編整備の推進について～

- 現行構想でも着実な再編整備を進めてきたが、次期構想では今後の子供数の急速な減少に併せて更なる再編統合を推し進めることが求められる。
- 一方、子どもたちの居住地や学びたいこと等を考慮しながら丁寧に進めることも重要となる。

再編整備の結果

【全日制課程】

5年間で、6校を再編統合して3校新設、2校を分校化、2分校を募集停止

【定時制・通信制課程】

- これまで3校（夜間定時制課程）の募集停止をして多部制定時制高校を1校新設
- 今後6校（夜間定時制課程）の募集停止をして多部制定時制・通信制課程を併せ持つ学校を1校新設予定

次期構想において求められる要素

- ① 3学級以下の小規模校の再編統合が進んでおらず、学校規模の確保のため、更なる再編整備が必要
- ② 今後の子どもの数の急激な減少を踏まえると、これまで以上の再編整備が必要
- ③ 学校の配置にあたっては、地域の状況や生徒の移動実態も踏まえた検討が必要
- ④ 各学校の空き定員を減少させるためには、学校の更なる特色化・魅力化や、子どもの希望やニーズに応じた入学定員の置き方の検討が必要